HOVLAND

HP-100 STEREO PREAMPLIFIER
取扱説明書

Ver.1.01

Presented by ACCA Inc.

有限会社アッカ　東京都港区西麻布1-15-1　森口ビル7F　〒106-0031

Tel.03-5785-0661　Fax.03-5785-0662

警告！　安全なご使用のために

感電や火災の危険性がありますので製品のキャビネットを取り外したり、
水に濡らすような事は絶対にお止めください。
製品の修理は必ず、「アッカ」もしくは、
お買い求めの販売店に依頼してください。
HP-100の内部は、お客様が修理することはできません。

HP-100の内部には高電圧がかかっていますので、製品のカバーを取り外したり、
ケースの隙間から異物を差し込んだりすることは絶対にお止めください。

HP-100の適切な取り扱い、梱包方法は、
本書記載の説明にしたがってください。

商品の梱包部材は、修理のために返送するときや、

引っ越しなどに備えて保管することをお勧めします。

目　　次

- 取り扱い、梱包　pg. 1
- 接続方法　2
- HP-100の使い方　4
- HP-100の手入れ　7
- トラブル・シューティング　8
- アフター・サービス　9
- 規格　10
- 製品保証　11
- 真空管配置図　12

H O V L A N D

HP-100

OWNER'S MANUAL

HP-100の取り扱い、梱包

製品の外箱や内箱は、すべての梱包部材とともに保存しておいてください。HP-100の修理の際には、オリジナルの梱包材料で再梱包した上で 「アッカ」、またはお買い求めの販売店に送っていただくことが必要です。

取り扱い

1．アンプを運ぶ前に、手が油や埃などで汚れておらず清潔であることを確認してください。
2．アンプを運ぶ時は必ず両手でアンプの両サイドをしっかり掴んでください。アンプの前面から見て右側の後方に重量のある電源トランスが配置されていますので、バランスに十分気をつけてください。
3．もし、体でアンプを支えなければならない時には、リア・パネル側を体に向けてください。その際、"LIGHT"スイッチのシャフトを折らないように注意してください。製品のフロント・パネルを体に向けて運ぶことは絶対に避けてください。きめの荒い衣服の素材やステッチ、ベルト、ジーンズのリベットなどでパネルの表面が傷つけられることがあります。
4．HP-100の操作ノブは、通常の製品にくらべてフロント・パネルからの突出量が多くなっています。部屋の出入り口を持ち歩く時やラックに設置する際には、コントロール・ノブにぶつからないように十分気をつけてください。
5．アンプの天板に直接物（CD,LP,新聞や他の製品等）を置くことは絶対に避けてください。

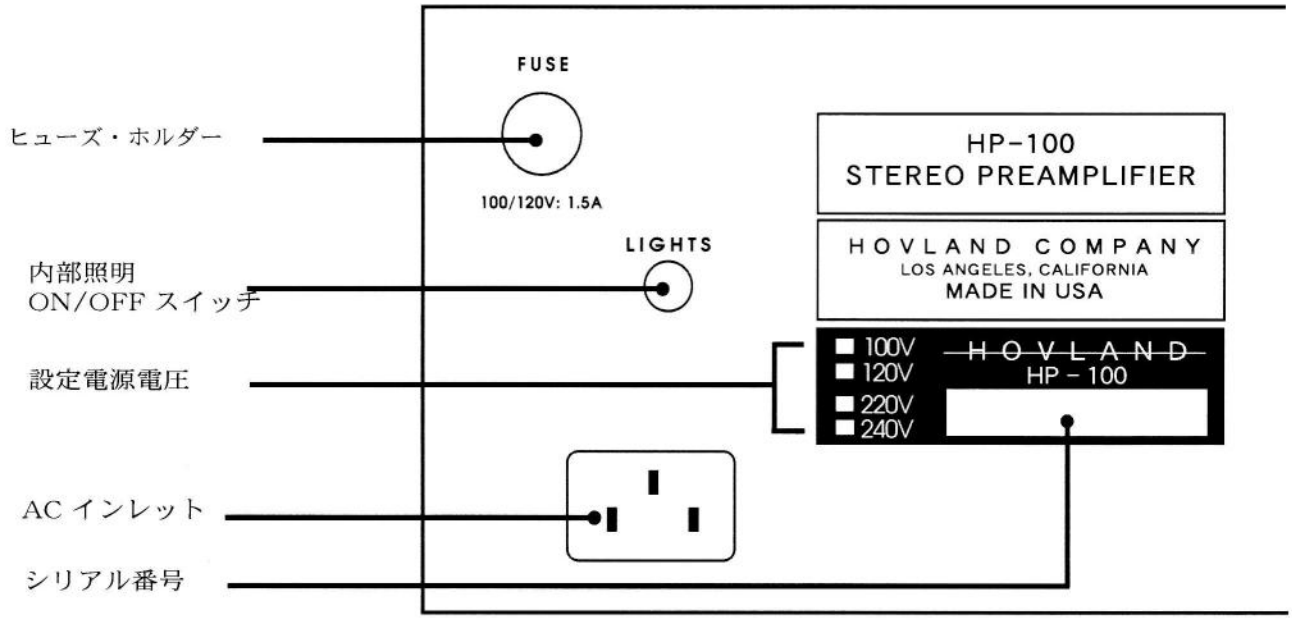
梱包

修理や引っ越しなどでHP-100を梱包される場合には、お買い求めの際に使われていた梱包材料でもとどおりに梱包してください。

接続方法

接続方法

HP-100は付属の電源コードを使ってリア・パネルの電源ソケットとACコンセントを接続してください。HOVLANDなど市販の高品位な電源コードの使用も可能です。注意：HP-100は、出荷先の地域の電源電圧に適合するように設定されています。もし疑問があるときには、「アッカ」もしくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。



入出力端子の接続

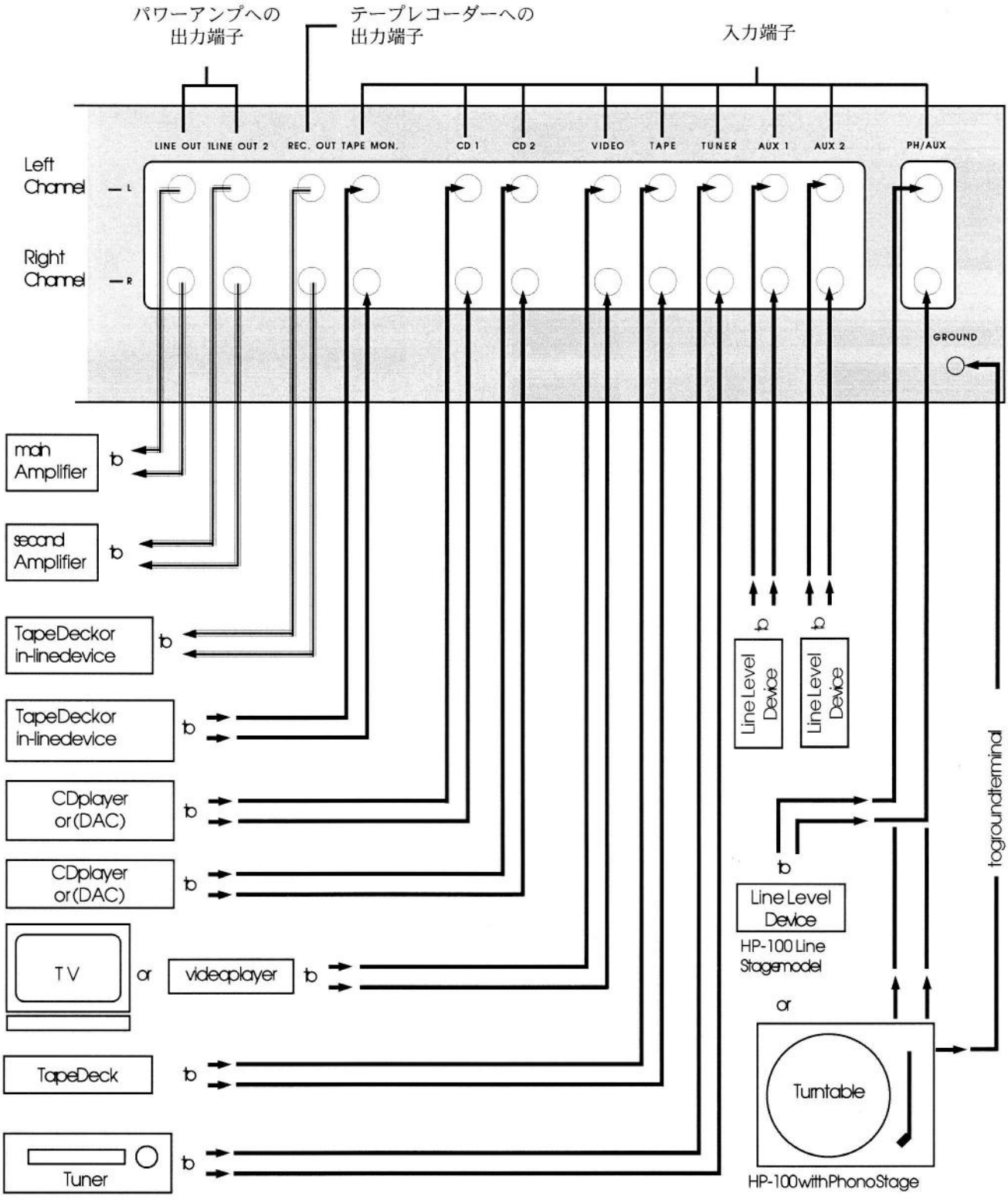
4ページのリア・パネル図を参照して接続をおこなってください。

HP-100は、様々な入出力機器と組み合わせることができるようなフレキシビリティーの高いコントロール・センターとして設計されています。

出力　LINE OUT 1 ・・・パワー・アンプへの出力端子
LINE OUT 2・・・2組目のパワー・アンプへの出力端子
REC.OUT ・・・・テープ・レコーダーなど録音機器への出力端子
グラフィック・イコライザーなどプロセッサー機器への出力端子としても使用できます。

入力　CD -1 ・・・・・ CDやDAコンバーターからの入力端子
CD -2 ・・・・・・2台目のCDやDAコンバーター用入力端子
VIDEO・・・・・TVの音声信号やその他のビデオ・ソース機器用音声信号入力端子
TAPE・・・・・ テープ・デッキやその他のライン・レベル・ソース機器用入力端子
AUX-1 ・・・・・ライン・レベル・ソース機器用入力端子（外部フォノ・アンプ等）
AUX-2・・・・・ AUX-1 同様、ライン・レベル・ソース機器用入力端子
PHONO/AUX・・ HP-100のみで使用する場合はライン・レベル・ソース機器用の入力端子として働きますが、 HP-100にフォノ・イコライザーを組み合わせるとレコード・プレーヤー用入力端子として働きます。
TAPE MON.・・・ テープ・レコーダーからの入力端子
グラフィックイコライザーのようなプロセッサー機器からの入力端子としても使用できます。
また、この端子は入力セレクター・スイッチを経由していないため、特に高品位なライン・レベル入力端子としても使えます。

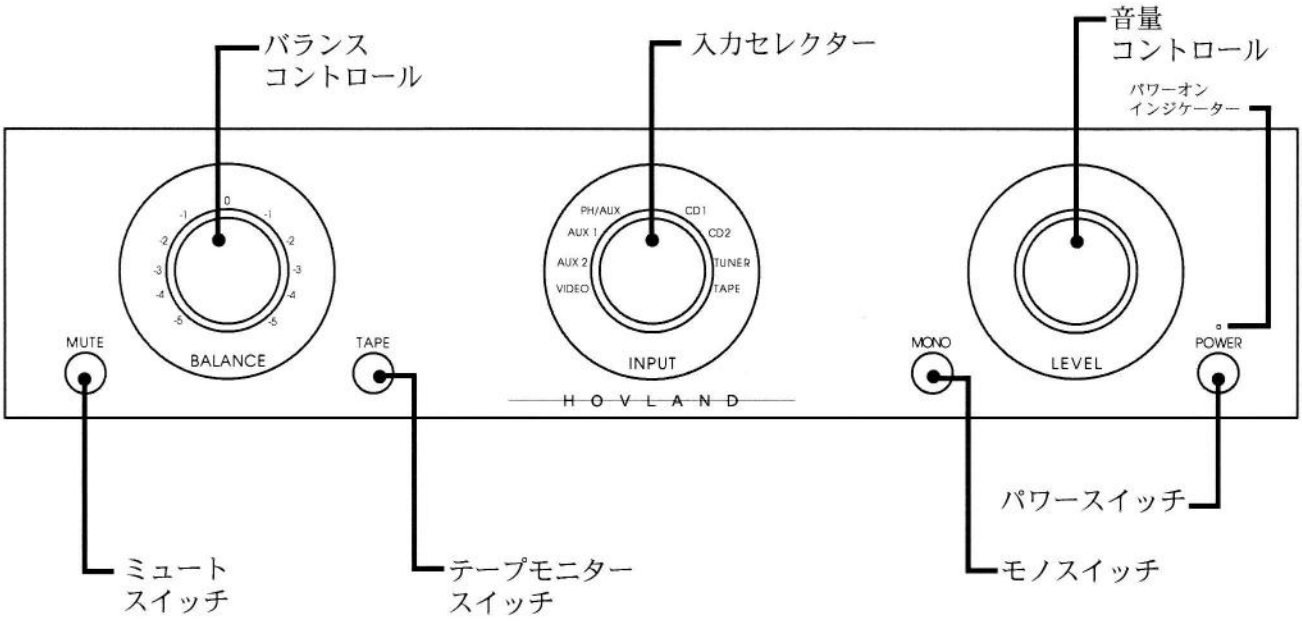
接続方法



リアーパネル入力/出力ダイヤグラム

HP-100の使い方

フロント・パネル



電源を入れる

1．電源を入れる時は、必ずレベルコントロールを絞りきってください。（反時計方向に回しきった状態）
注意：HP-100に使用されている高精度レベル・コントロール・スイッチやその他のすべての操作スイッチは軽い力で動きます。必要以上に力をかけないようにしてください。

2．パワー・スイッチを押すと、HP-100に電源が入り、パワー・スイッチの上にあるパワー・インジケーターが青く点灯します。
注意：電源を投入してから音が出るまで、約30秒ほど時間がかかります。

入力ソースの選択とボリューム・レベルの調整

1． INPUT（入力セレクター）ノブを希望のソースに合せます。

2． 入力ソースの再生が始まったら希望の音量になるまでゆっくりと LEVEL（音量） ノブを回して音量を上げてください。組み合わせる機器によって、LEVEL ノブの位置は異なります。

その他のコントロールと機能

BALANCE（バランス）

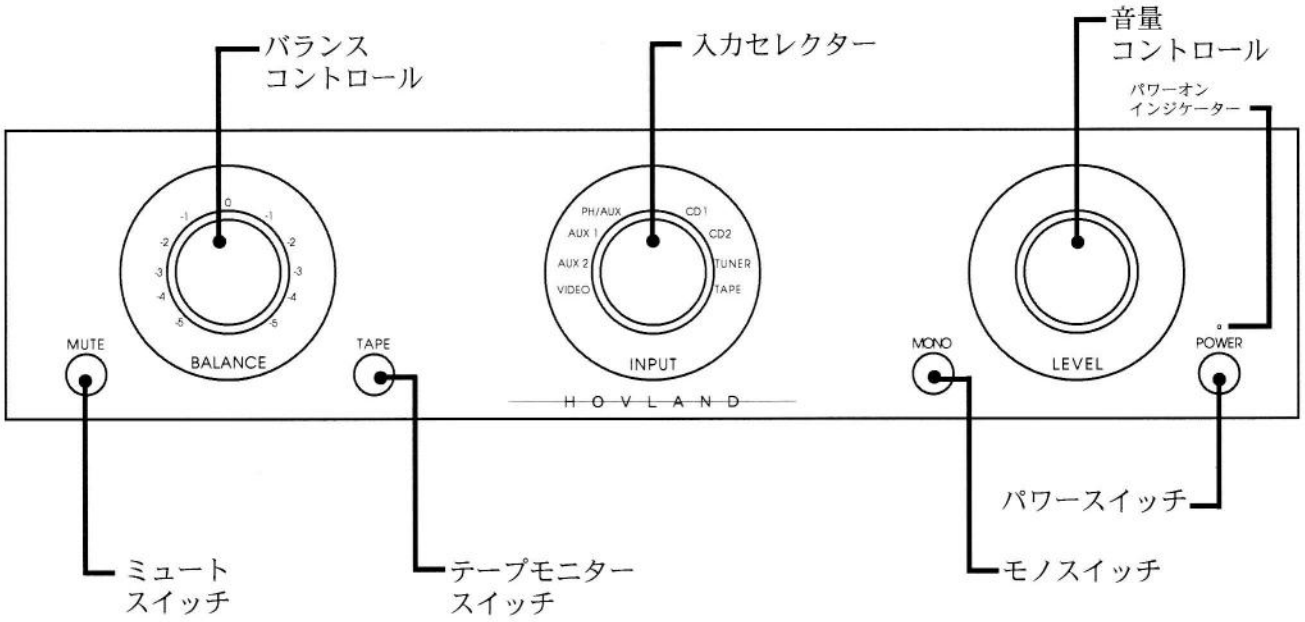
左右の音量差を調整します。アッテネーター方式で1dB単位で最大-5dBの範囲まで調整できます。このスイッチの位置を "0"にセットすると信号経路からこの回路は切り離されます。

MONO（モノ）プッシュ・スイッチ

このスイッチを押し込んで IN にすると、左右両チャンネルの信号がミックスされます。

HP-100の使い方

フロント・パネル



TAPE（テープ）モニタースイッチ

テープ・モニター機能によってテープに録音中の音をモニターすることができます。また、HP-100の信号経路に音質調整用の機器を挿入することもできます。この機能は、TAPE スイッチを押し込んで、IN にすると働きます。

注意：リア・パネルのテープ・モニター端子に機器が接続されていない場合には、TAPEスイッチを押し込んで IN の状態にしても音は出ませんので、このスイッチを IN にしないでください。

MUTE（ミュート）　プッシュ・スイッチ

ミュート機能は、HP-100のレベル（音量）セッティングを変えたり、電源を切ることなく、音声を消すことができる便利な機能です。　注意：通常はこのスイッチは OFF で使います。この機能を用いることによってオーディオ機器のそばを離れる際にも機器の電源を ON の状態にしておくことができます。

LIGHT（ライト）　スイッチ

LIGHTスイッチは、リア・パネルのヒューズ・ホルダーの下にあります。このスイッチを使って、HP-100の内部の照明を消灯させることができます。

HP-100の使い方

組み合わせ機器との相性や発展性について

HP-100は様々な高品位オーディオ機器と組み合わせた場合の電気的、音質的な相性に考慮した設計がなされていますが、一部の特殊な製品との組み合わせでは、本来の性能を最大限に発揮できない場合があります。例えば常用するパワー・アンプの入力インピーダンスは、20kオーム、またはそれ以上であればHP-100の能力をベストの状態で発揮させることができます。ほとんどのパワー・アンプは伝統的に47kオーム、もしくはそれ以上の入力インピーダンスで設計されているので特に問題はありません。

46dBゲインのフォノ・ステージをHP-100とともに購入されたお客様は、高出力タイプMI型、MM型カートリッジから、非常に高品位でロー・ノイズ、そしてダイナミックな音楽再生を楽しんでいただけます。出力レベルが0.8mV以下の低出力タイプのMC型カートリッジを使う場合には、この46dBゲインのフォノ・ステージにさらに20dBゲインのステップアップ・トランス・モジュールHOVLAND MC-10を装着することによって、再生に必要なゲインを得ることができます（HOVLAND MC-10装着時の、ライン・ステージと合わせた総ゲインは、80dBになります）。MC-10モジュールは、HP-100をお買い求めの販売店で購入・装着できます。

HOVLANDフォノ・ステージの入力インピーダンスは、ほとんどの中/高出力カートリッジに対する理想的な価として1メグ・オームに設定しています。ステップ･アップ･トランス付きの低出力タイプのカートリッジや中/高出力タイプのMCカートリッジの場合には、MC-10ステップアップ･トランス･モジュールを介することなく、HP-100のフォノ･ステージに直接接続することができます。負荷抵抗の変更は、「アッカ」もしくは「アッカ」による十分な訓練を受けたサービスマンによってのみ可能です。フォノ･ステージはカートリッジから送られてくる微小なレベルの信号を取り扱っています。ソケットやクリップを用いずに基板の下部に直接ハンダ付けする作業を伴いますので、お客様自身による変更は絶対に行わないでください。

HP-100の使い方

使用上のご注意

適切な通風と設置場所

HP-100の真空管やその他の部品はファンを使わない自然空冷方式によって保護されています。天板の網目状のフィルターが取りつけられた開口部と製品の底板の間の空気の流れによって通風がおこなわれますので開口部は絶対に塞がないでください。足や様々な形状のインシュレーターを取り付けるために、6つの 1/4 x 20 の螺子穴が開けられています。

注意：フロント・パネルの電源スイッチの下にある螺子穴に使用できる螺子の長さは、1/4インチ以下です。螺子頭の頂点から先端部までを含めてこの長さを絶対に超えないようにしてください。もし、ここに 1/4インチ以上の長さの螺子を使うと製品を傷めることになりますが、これは保証の対象外です。

HP-100は付属の脚をとりつけることによって必要な通風スペースを確保するために必要な高さに持ち上げられます。もし、プリアンプをラックに組み入れる場合やインシュレーターを使う場合は、設置面との距離がHP-100に付属の脚を取り付けた場合よりも高くなるようにしてください。HP-100は最低でも天板から2インチ（5cm）以上の通風スペースが必要です。また、製品の周囲を覆うようなタイプの箱型のラックに組み込む場合、製品の周囲に空気を循環させることが必要なことは言うまでもありません。

HP-100の手入れ

クリーニング

HP-100のパネルには非常に高品位な処理が施されており、適切に取り扱うことによって、長期間にわたって高い信頼性と美しさを維持することができます。全面研磨された表面には時間が経つにしたがって細かい傷がつきます。しかし、外装クリーニング用としてHP-100に付属の専用マイクロファイバー・クロスをお使いいただくことによって、長期間にわたって光沢を保つことができます。もし、このクロスが製品に同梱されていない場合や紛失された場合には、お買い求めの販売店もしくは「アッカ」にご相談ください。

製品に付属のクロスは特別に選ばれたものですが、眼鏡店やカメラ店などで販売されている他のブランドのマイクロファイバー・クリーニング・クロスを購入されることも可能です。

黒色メッキされた天板、側板、底板は少量の家具用光沢剤を清潔で柔らかい布に吹きかけて布が乾くまでの間にフロント・パネルを除く表面全体をそっと拭いてください。この時にフロント・パネルの上部や前面を磨くことは絶対に避けてください。フロント・パネルはクリアーコート処理で仕上げられており、いかなる光沢剤も受け付けられません。

また、光沢剤は絶対に天板に直接吹きかけないでください。吹きかけられた光沢剤の粒子が製品の内部に入り、真空管やその他の部品の寿命を大幅に縮めます。また、種類に関わらず、研磨剤や研磨道具（例：ブラシ、クレンザー、窓用クリーナー、たわし等）、ワックス、シリコンを含んだ光沢剤等も絶対に使用しないでください。

トラブル・シューティング

もし、プリアンプに接続された入力ソース（CD、フォノ、チューナー等）の音がスピーカーからでない時には、以下の点をチェックしてください。

a) すべての機器の電源は入っていますか？
HP-100のパワー･インジケーターが青く点灯していますか？
（HP-100の電源スイッチ を投入してから約30秒間は音が出ません）
b) "LEVEL"（音量）つまみは通常のレベルまで回されていますか？
c) "INPUT"（入力セレクター）が、お聴きになりたいソースに合っていますか？
d) "MUTE"や"TAPE"スイッチがオフ（ボタンが飛び出した状態）になっていますか？
e) ソース機器やパワー･アンプは適切な端子に確実に接続されていますか？

もし片チャンネルのスピーカーのみ音が出ない時は、その原因がプリアンプ以前にあるか以降にあるかを調べるために以下の簡単な確認作業を行ってください。

① ソース機器で音楽を再生します。ボリュームを控え目にして"MONO"スイッチをONにしてください。
② この状態で左右両チャンネルのスピーカーから音が出れば、パワーアンプやスピーカー、そしてそれらの機器との接続は適切に行われており、トラブルの原因はプリアンプ以前にあるということになります。

上記の確認で問題がプリアンプ以降ではないことが確認された場合は、"MONO"スイッチを解除して以下の確認作業を行ってください。

① HP-100の電源を切ってプリアンプの"INPUT"（入力セレクター）で選択された入力端子に接続されている左右のケーブルを入れ替えます。
② プリアンプの電源を投入しソース機器で音楽を再生します。この状態で音が出ないチャンネルが逆のチャンネルに映った場合には、音の出ない方のチャンネルに接続されたソース機器からのケーブル、または、ソース機器そのものに問題があります。

もし、上記テストで音の出ないチャンネルが反転しない場合には慎重にHP-100と入力機器が接続されている端子を再確認してください。そして、ソース機器からの接続をHP-100のフォノ以外の他の入力端子に接続してください。
"INPUT"（入力セレクター）の位置を合わせて再度聴いてみてください。もし、それでも同じチャンネルのスピーカーから音が出ない場合には、お買い求めの販売店または「アッカ」に相談してください。

アフターサービス

HOVLAND HP-100プリアンプは長期間にわたって高い信頼性を発揮できるように設計されていますが、万一、問題や故障が起きた場合には十分な訓練を受けたサービス･スタッフによってサポートいたします。真空管アンプの内部には高い電圧がかかっており危険です。また、多くの精密なアッセンブリーを傷めることにもなりますので、お客様自身による修理は絶対に行わないでください。もし、お近くにハイエンド真空管オーディオ機器の修理についての十分な能力を持ったサービス･スタッフがいたとしても、HP-100は「アッカ」にサービスを依頼することが最良です。抵抗・コンデンサー・真空管など、HP-100に使われているすべての回路部品やスイッチ類、配線材は性能に大きな影響を及ぼすため特別に選別された部品、もしくは専用に作れた部品が使用されています。「アッカ」ではHP-100の修理についての特別な訓練を受けた優秀なサービス･スタッフに対して部品を供給できるような体制を整えています。また、設計上の改善が行われた場合にはアップグレードを行うことも可能です。修理の為に製品を 「アッカ」に返送される際、事前にお電話で症状について「アッカ」にご相談ください。

「アッカ」の連絡先は次のとおりです。

有限会社アッカ　東京都港区西麻布1-15-1　森口ビル7F　〒106-0031
Tel.03-5785-0661　Fax.03-5785-0662

製品はお買い求めの際に使われていた梱包材料を使ってカートン箱に入れて送ってください（保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件です）。HP-100の発送にあたっては、この取扱説明書の"取り扱い／梱包"のページに記載の内容を確認してください。もし、製品を購入された時に使われていたカートン箱や梱包用部材がなくなってしまった場合は「アッカ」から購入することが可能です。

真空管

真空管は同じ型番でもメーカーが異なったり、同じメーカーでも工場や生産ロットによって様々な動作上の特性に違いが生じます。HOVLAND HP-100では、工場から供給を受ける真空管の音質が最適化されており、長期間にわたって高い性能を発揮します。もし、真空管の交換が必要になった時には、HOVLAND社によってペアリングされた真空管の使用をおすすめします。これらの真空管は、他の供給業者のものよりも極めて高い特性を有し、また、それぞれの真空管のマッチングも十分にとられており、HOVLAND社に真空管を供給しているブランド自身のものよりもさらに厳密な選別基準とペアリングがなされています。

保証期間中のすべての修理は「アッカ」によって行われますので、お客様自身で真空管を交換する必要はありません。また、保証期間の満了後であっても、「アッカ」またはハイエンド真空管オーディオ機器に精通した専門家に依頼してください。真空管を交換する場合には安全のためHP-100の電源コードを抜いてから最低30分以上経過した後に製品の内部を開けるようにしてください。HP-100の電源部にかかっている危険な電圧を放電させることが必要です。天板を外すにはAT-15サイズのトルクス・タイプのドライバーが必要です。真空管の配置は基板上に書かれていませんので、真空管配置図を参照してください。真空管にはそれぞれのソケットに合わせて選別とラベリングがなされていますのでこれに従ってください。

HP-100 TECHNICAL SPECIFICATIONS

ラインステージ

入力インピーダンス:	100 kΩ
ゲイン:	14 dB
周波数特性:	+0 / −.25 dB, 10 Hz − 25 kHz
全高調波歪み率:	< .1% at rated output
SN比:	80 dB below 3 volts out, wideband (with LEVEL control at full clockwise)
出力インピーダンス:	approx. 2500Ω

フォノステージ(46 dBゲイン)

入力インピーダンス:	1 MΩ
ゲイン:	46 dB @ 1 kHz
周波数特性:	±0.15 dB, 25 Hz − 25 kHz
SN比:	60 dB below 2 mv input signal wideband 75 dB below 2 mv input signal using 400 Hz high-pass filter
推奨カートリッジ出力:	約0.7mV以上/1kHz

フォノステージ(MC-10ステップアップトランス; 66 dBゲイン)

推奨カートリッジ出力:	約0.8mV以下/1kHz

使用真空管

ラインステージ:	(2) 12AX7, (1) 12AU7
フォノステージ:	(2) 12AX7, (1) 12AT7

電源/電圧/周波数

0.5 A, 100v 50-60 Hz

外形寸法

464(幅)×128(高さ)×427(奥行) mm

梱包質量

16.7 kg

本体質量

12.2 kg

※本機に付属している電源コードは本機専用です。他の機器では使用しないでください。

■規格および外観は予告なく変更することがあります。

■本機の外観部品は手作りされていますのでセットによって微妙に差が出ることがあります。

製品保証

製品保証期間　"一年"保証

日本国内における製品保証について

日本国内におけるHP-100の製品保証については、以下の保証規定が適用されます。

保証

HP-100に用いられている材料や生産工程には十分な品質管理が施されていることを保証いたします。

製品の保証期間は初代の購入者の購入日から一年間です。

この保証は、購入日から30日以内に同梱の保証登録カードを「アッカ」に返送された場合のみ適用されます。

保証内容

保証内容は以下の条件と範囲です。

取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、お客様が誤った使い方 をされた場合、輸送中の事故や不注意、「アッカ」および「アッカ」の指定するサービス･センター以外で修理や変更が加えられた製品に対してはこの保証は適用されません。「アッカ」によって取りつけられた真空管以外のものが使われている場合も保証されません。保証期間中ならびに満了後についても真空管の交換は「アッカ」で可能です。「アッカ」またはその指定するサービス･センターへの返送商品の梱包は、必ずお客様ご自身かお客様の負担でおこなってください。返送商品には必ず不具合の内容を書き記した書類と保証書のコピーを添付してください。

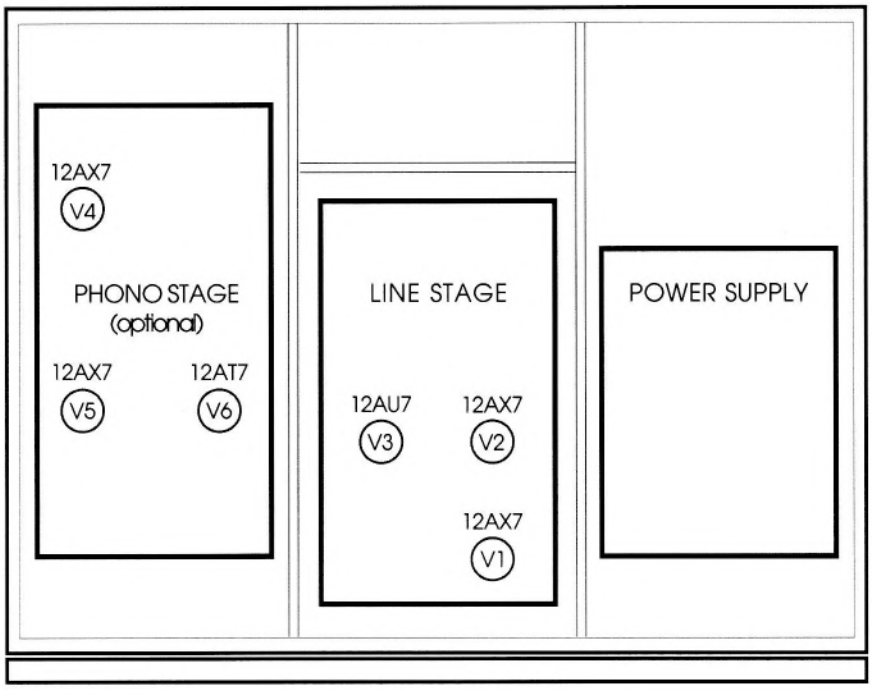
修理

製品の故障が上記保証内容に合致している場合は、部品代および技術料は「アッカ」が負担します。

その他

製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。また、HP-100に接続された機器に対して付随的に発生した故障や費用については一切カバーされません。この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に対して優先します。

真空管配置図


12AX7
V4
PHONO STAGE
(optional)
12AX7
V5
12AT7
V6
LINE STAGE
12AU7
V3
12AX7
V2
12AX7
V1
POWER SUPPLY